

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供が自主的に学習に取り組む力をつけてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい

【学校教育目標】

自主的でたくましく、心豊かな生徒の育成  
(深く考え思いやりのある生徒、進んで学びみがき合う生徒、健康でたくましく体力のある生徒の育成)

【めざす生徒像】

- ・自分や仲間を大切にし、決まりを守り、責任を果たす生徒
- ・人権感覚を身につけ、互いを認め合う生徒
- ・主体的・対話的で深い学びができる生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が進みつつある
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 地域や保護者は学校に協力的である

生徒の実態

- あいさつができる生徒が多い
- 学校の規則を守る意識が高い
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 読書に親しむ生徒が少ない
- 家庭学習の定着率がやや低い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- 学び合いの授業づくりの推進のため、研究授業や研究協議会を充実させる
- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 読書活動の充実に向けて保護者・地域の協力を得ながら図書館運営を活性化させる
- 家庭学習支援サービスの活用など基礎基本の定着のための環境整備を図る

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る
- ・主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業を実践したと思う(生徒・教師90%)

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

- 「私たちの道徳」「心のとびら」「希望へのかけはし」を活用し、道徳科を見据えた授業を行う
- いじめアンケートを年間3回以上実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 人権・同和教育に組織的・計画的に取り組む
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 体験学習を取り入れたグループ活動に取り組ませ、絆を深めさせる

- ・学校が楽しいと感じる(生徒90%)
- ・道徳科の授業の実践と適正・公正な評価 100%
- ・いじめの解消率 100%

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 「運動部活動指導の手引」「和歌山県中学校運動部活動指針」に基づき、効果的・効率的な指導・運営を行う。
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 「四肢の状態検査」等の結果から個々の生徒の健康課題を分析し、教科指導や部活動指導に反映させる

- ・朝ごはんを食べた(生徒100%)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)
- ・「運動部活動指針」に基づき指導・運営する(教師等100%)

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎小中の接続、河西中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 木本・松江地区子どもを育てる協議会で校区内の子供の健全育成、地域の教育力向上のための情報交換や研修を行う
- 地域の各種団体と連携を図り子供に関わる情報交換を行う。
- ブロック特別支援連絡協議会など小中の接続・連携を充実させる
- 文化祭を地域の公民館活動の発表の場とし活用する

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと